

◆ 平成 22 年度（前期）県立広島大学 学部・学科・研究科（専攻）等による FD 活動（教育改善）計画一覧

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
経営情報学部	学科長 山本努	学生の勉学状況などに応じて随時	研究室, 教室, 会議室, 学外	<p>実施目的 広島県立大学経営学部過年度学生への対策が目的。この目的のためには、経営情報学部教員・教学課担当者との情報交換、協力関係の構築が重要になる。したがって、これらの者が参加することになる。</p> <p>実施内容 広島県立大学過年度学生の対策は、経営情報学部の重要課題の一つである。指導教員、教学課の協力指導体制によって、広島県立大学過年度学生の、少しでも早い（できれば、今年度の）卒業を目指して、種々の指導、活動を行う。</p>
保健福祉学部 看護学科教育課程検討会	石田宜子	月に 1 回程度	検討会: 空き研究室 ワークショップ: 4606 等の会議室	<p>実施目的 看護倫理教育推進のための方策。</p> <p>実施内容 現在 2 回検討会を開いており、今後の企画の計画立案を行っている。看護学科全教員を対象としたワークショップを設定する。</p> <p>参加者数（予定） 定例会：7 領域の代表者 7 名+教授 1 名+助教 2 名、ワークショップ：全教員 37 名の予定。</p>
保健福祉学部 理学療法学科	学科長 大塚彰	①②：毎週水曜日・4 時限目 (学科会議時) ③：第 2 水曜日・4 時限目 (月 1 回)	2406 講義室	<p>実施目的</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学外における臨床実習中の学生の学習支援。 ② 学内での学習の進行に問題を抱える学生の支援。 ③ 勉強会。 <p>実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 前期ですでに 3 回以上欠席している学生について、学科内教員よりの報告→チューターによる状況把握→学科での対応検討を実施している。 ② 4 年生の「総合臨床実習 I」について問題のあったケース 1 件について検討し、教員による早期実習地訪問指導を実施した。 ③ 4 月 21 日に、塩川准教授による学習の進行に問題を抱える学生に対する指導方針の教育学的検討についての講義を実施した。 <p>参加者数（予定） 理学療法学科教員全員（12 名）。</p>
保健福祉学部 作業療法学科	田端幸枝	①：月 2 回の学科会議。 FD 特別講演会 4 月 14 日（水）12：30～13：30 ②：第 1 回 2010 年 7 月 28 日（水）、第 2 回 2011 年 3 月 23 日（水）12：30～13：00。 ③：学科会議において随時	2416 会議室 1207・8 会議室 2416 会議室 2416 会議室	<p>実施目的 FD 活動の充実。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 情報の共有化や学生指導の検討 ② 教育の質の向上を図るための学科 FD の講演会 ③ その他の専門知識及び技術の向上を図るための伝達講習会等 <p>実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学科の FD 特別講演会。講師：本学科の藤巻康一郎教授、テーマ：「学生の自傷または他害行為への対応—精神保健福祉法の側面から—」。本学科教員 15 名と他学科教員 15 名、計 30 名が参加した。学生の危機管理及び援助を考える上で、大変有用な知識を得ることができた。 <p>参加者数（予定） 15 名。</p>

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
保健福祉学部 コミュニケーション障害学科	本多留美	学科会議：月例・昼休み 学生支援会議：不定期・昼休み	1309, 1310 演習室	実施目的 学生支援の充実。 実施内容 学科会議及び学生支援会議では、学生の学業・生活両面について、問題を早期に発見し、対応を行い、その結果を教員間でできるかぎり共有することをめざす。 参加者数（予定） 学科会議及び学生支援会議（本学科教員 10～15 名）。
		実習指導者会議：5/17, 7/26, いずれも午後 日本語聴覚士養成校教員連絡協議会総会：6/25, 17：30～ 臨床実習のあり方についての検討：随時	4102 地域連携センター 日本語聴覚士養成校教員連絡協議会総会（大宮ソニックシティ）	実施目的 効果的・効率的な専門職教育の検討。 実施内容 実習指導者会議を利用し、学外実習施設の指導者から情報を集め、本学での教育状況についてフィードバックをいただく。日本語聴覚士養成校教員連絡協議会総会では、専門職養成校が共通に抱える問題について、他学との情報交換を行う。また、今年度から、臨床実習のあり方についての検討を進め、学生・教員両者にとってよりよい実習が行えるよう、今後、整備して行く点を明らかにする。 参加者数（予定） 実習指導者会議（本学科教員 13 名及び臨床実習施設指導者 20 名前後）、日本語聴覚士養成校教員連絡協議会総会（本学科教員 2～3 名）。
		コミュニケーション障害学科セミナー：6 月～月例・昼休み	1309, 1310 演習室等	実施目的 専門・関連分野に関する知識の充実。 実施内容 コミュニケーション障害学科セミナーでは、教育や研究について、教員が順番に話題を提供しあい、発表・討議を行う。 参加者数（予定） 本学科教員 10～15 名
保健福祉学部 人間福祉学科	三原博光	毎月第 3 水曜日・4 時限目（学科会議時） 毎月第 1 月曜日・2 時限目（学科実習指導者会議）	未定	実施目的 学外実習の学生の学習支援及び学内での学習に問題を抱える学生に対する支援。 実施内容 実習や学習に問題を抱える学生に対しては、その学生の問題状況を考察し、学生に適した実習先の確保や学習指導を行う。 参加者数（予定） 実習及び学習指導に関する会議：人間福祉学科教員全員(22 名)。
		5 月 22 日(土) 10:00～13:30	体育館, 食堂, 調理実習室	実施目的 地域の障害者家族などの福祉対象者に対する支援能力の形成。 実施内容 学生達が障害者の家族と行事の実現に向けて準備交渉を行っている。 参加者数（予定） 地域の障害者家族と人間福祉学科の学生達とのビーチバレーボール・カレー調理交流会：教員 2 名, 学生 70 名。